

# 被ばく低減対策好事例集

場所		分類		番号	29-02-03
原子炉建屋内 (RB)	RB	5	1 時間		
タービン建屋内 (TB)			2 距離		
R ZONE (R)			3 遮へい		
Y ZONE (Y)			4 線源の除去		
G ZONE (G)			⑤ 遠隔、ロボット化		
その他 ( )			6 汚染拡大防止		
			7 その他		

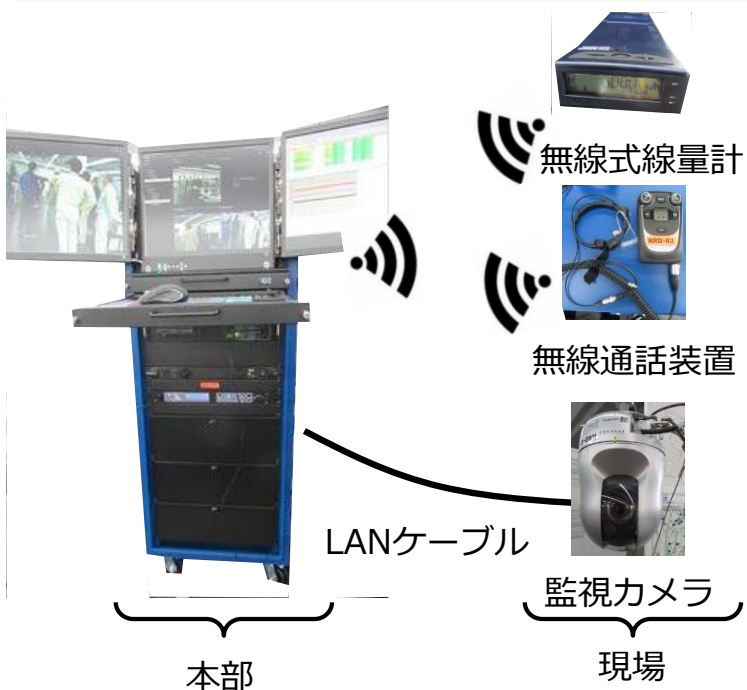
内容	リモートモニタリングシステムの構成			
作業部位	3号機原子炉建屋 1階			
概略	リモートモニタリングを活用し、作業者の動き、被ばく状況の遠隔監視を行った。			
評価 (定性・定量)	効果		対策前	対策後
		被ばく線量(mSv)	--	119
		人工数(人日)	--	--

## 事例詳細

**対策前** 現場作業において、リアルタイムでの作業者の作業状況や被ばく線量の把握などが困難であった。

**対策内容** 無線式線量計、無線通話装置、監視カメラの統合システムを活用してリアルタイムで作業と作業員の監視を行い、作業者、放管員、管理員の被ばくを低減した。

### 無線式線量計、無線通話装置、監視カメラの統合システムを活用して作業者、放管員、管理員の被ばくを低減する



- 線量のリアルタイム監視**
  - 作業者の積算被ばく線量
  - 作業エリアの目安線量率
- コミュニケーションの円滑化**
  - 本部 - 現場間の音声通信

- 放管員の低線量率エリア待機**
  - 退域作業者をカメラで把握し、タイミングを合せて放管員がサーベイを実施